



11/6 鉄道から読み解く上士幌、十勝 MY-MICHIプログラム講話

上士幌小学校でMY-MICHIプログラムの参加者を対象に上士幌小学校目黒校長が講話を行いました。目黒校長自身の生い立ちから、十勝、上士幌の成り立ち、それに伴う物流の歴史などをお話いただきました。特に目黒校長が趣味にしている鉄道に関連した上士幌、十勝の歴史は非常に興味深いお話でした。講話終了後には、参加者から質問が多く上がり、十勝や上士幌の歴史に興味を持った様子でした。

11/10 有限会社嘉藤産業 消毒液10缶寄付

有限会社嘉藤産業様が町内小中学校、社会福祉協議会に消毒液合計10缶を寄付いただきました。嘉藤さんは「現在コロナウイルスの第3波が来つつあり、今後も感染症対策が必要になってくる。未来を担う子どもたち、これまで町を支えてきていただいた方たちのために使ってほしい」とお話しいただき、社会福祉協議会鈴木会長は「事業などで日々消毒が必要。今回の寄付はとてありがたい」と感謝の言葉を述べました。



10/14 散歩をしながら防犯活動 わんわんパトロール隊発足

ぬかびら源泉郷で「ぬかびら源泉郷わんわんパトロール隊」の発足式が行われました。この取り組みは、町内会が主体となり、普段の散歩の際に何かあれば警察に通報することにより防犯効果が期待されます。小野内会長は「温泉街にふさわしい防犯組織にしてほしい。日ごろの散歩などの際に、温泉街の防犯啓発をしてほしい」と話しました。



10/15 上士幌サッカー少年団黒沼さん ナショナルトレセンU-12選出

2020年ナショナルトレセンU-12北海道に選出された黒沼蓮さんが教育委員会を訪問しました。10月17・18日に札幌市で開催され、全道から複数回の選考を突破して選ばれた47名がレベルアップなどを目的とし、活動を行います。黒沼さんは「選ばれてうれしい。高いレベルを経験するいい機会。北海道のレベルを知りたい」と意気込みを語りました。

地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告



記:ICT推進員 外山 愛美

TITLE: 上士幌町と挑戦

私が地域おこし協力隊として上士幌町に移住してから、約3ヶ月が経とうとしています。生活にも慣れてきた頃ですが、どこまでも続く空と畑、雄大な山々を見ると自分が上士幌町で暮らしている事を改めて実感させられます。

この3ヶ月間は主に、ICT推進室の一大プロジェクトである「予約制福祉バスの試験運行」に携わっています。このプロジェクトの肝は「高齢者さんがタブレット端末を使って福祉バスを予約する事」です。初めは「こんなの使った事がないからできるかわからない」と不安の声が多く挙がりましたが、練習を重ねるたびに操作もスムーズになり、「こうしたらもっと良くなる」と改善案も頂くようになりました。他にもタブレットでビデオ通話をする等、沢山の方が新しい事に挑戦しています。

古くからあるものを大切にしながら、町をより良くする為に挑戦を続ける上士幌町に来る事ができて本当に良かったと感じています。

また、私たちからの「タブレットを使ってほしい」というお願いを受け入れてくださった皆さま、一緒にお話を聞いてくださったご家族の皆さま、本当にありがとうございます。

秋ヶ岡線 および 上音更線の沿線にお住まいの方

予約制福祉バス 3ヶ月間の試験運行 がはじまります

2020年 10月～12月

週3日運行 (火曜・木曜・金曜)

便利 4つのポイント

ご自宅付近まで送迎

好きな時間にお出かけできる

目的地を選べる

▲試験運行開始時に配布したチラシ



▲タブレットのバス予約画面

10/20 もしもの時に備えて 糠平地区防災訓練

ぬかびら源泉郷で防災訓練が実施されました。当日は消防団により、住民への伝達、避難行動を行い文化ホールに集合しました。その後非常食の試食、段ボールベッドや非常用トイレの展示、文化ホールの備蓄品の紹介などが行われました。終了後はマイクロバスでスキー場駐車場に移動し、防災ヘリによる救助訓練の見学を行い、防災意識を高めました。



▲10月27日森の輪配布



▲11月1日上高歴代4機立ち上げ



▲11月5日防災セミナー



▲11月7日上高吹奏楽部道の駅演奏会

10・11月の まちのわだい

短歌

「うおの目」をとりに来る日と看護婦のくれし紙片を壁に張りたる
 毛つくろいの片足あげしま、外を見据える猫よ何を見つけし
 街路灯つかれしいろに灯ともりて夜の明け三時だれも来たらず
 相ともに傘寿を超えていよいよ互いのバランスとれぬこの頃
 おおみそか紅白歌合戦ゆっくり見今年最後の締め括りとす
 冬近し霜が降りれば雪のよう外を歩けば白い息なり
 朝晴れてセンターへ向かい歩く時道の駅にキャンピングカーあり
 ひさびさに家族集まる年の暮密になるなど母苦笑い
 今度行く研修旅行を楽しみにセンターの皆と刺子をして待つ
 車いす母は離して運動し家の中を行ったり来たり
 体操を始めて気付く身の硬さ驚くほどの変化が嬉し
 少々の痛みは言はず腰痛に堪へてけさも行動起こす

石松小高中 鈴米佐尾 本
 川田松木濱木森藤野 間
 裕理義誠夏 真葵 よし 栗
 子恵美也希豊弓衣乃 風



● 今月号のまちのわだいに、今年初めての表敬訪問の話題が掲載されています。今年にはコロナで表敬訪問を取材する機会が減ってしまいました。表敬訪問の際、教育長と参加者のほほえましい会話が癒しだったので、それを聞けないのはとても寂しい限りです。ぜひ来年こそは!...Y

● 先月号で、町内飲食店で利用できるクーポン券「てくてくスタンプラリー」を紹介しました。8千円分のクーポン券が6千円で購入できるお得な企画です。私もさっそく使ってみたのですが、千円以上の利用で押してもらえないスタンプがなかなか集まりません。主に昼食で使用しているのですが、おひとり暮らしで千円以上は食べられないのです。無理に大盛にして、苦しくなることもしばしば……T

広報 かがみしほろ 1月号は12月25日(金) 発行予定

令和2年 10 月末現在の 人口

男性	2,440人(-2人)
女性	2,535人(-9人)
人口	4,975人(-11人)
世帯数	2,598世帯(-5世帯)

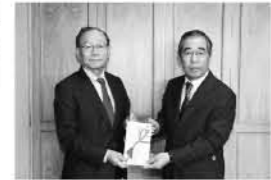
令和2年度 ふるさと納税寄付金

10 月分	15,643 件	233,592,886 円
累計	43,934 件	662,118,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

寄付 (11/9まで)

● 11月4日、三洋興熱株式会社様が町の振興のため20万円を寄付されました。



令和2年度「上高たより」
 上士幌高校です! 文責: 教頭

No. 32
 令和2年
 11月25日

TITLE:「中学生一日体験入学」を実施しました

10月3日(土)中学生対象に体験入学を開催しました。コロナウィルス感染症の関係で、参加人数が心配されましたが、今年度は昨年度より多くの参加がありました。生徒54名、保護者10数名の方が本校に足を運び、本校についての説明を熱心に聞いておりました。まずは体育館にて、本校の実情について担当者より説明があり、その後は事前に申し込んでいた英語、理科、社会、家庭科の4教科に分かれての授業を体験。どの教科も興味深いものを準備したためか、予定していた時間より超えてしまいました。そして体育館に戻り、本校の生徒会からの学校紹介、並びにネクタイ講座を実施。現役の生徒からの説明ということで、和やかな雰囲気の中で終わることが出来ました。今回の体験入学を機に沢山の生徒が本校を受験してくれることを願っております。



△国旗の意味を知る社会の授業です



△家庭科でダルゴナコーヒーを作りました



△理科は炎色反応で炎の色を見ました



大学訪問に行ってきました

文責 佐々木 悠真

私たち1年生は10月16日、「総合的な探求の時間」の進路学習で大学訪問に行きました。午前中は全員が札幌学院大学、午後からは北海道情報大学・千歳リハビリテーション大学・北翔大学に分かれました。午前の札幌学院大学で私は心理学部を体験しました。内容は「心はどこにあるのか」を考えるもので、自由に立ち歩いて話し合ってもいいというスタイルだったので、みんなが意見を出しやすかったです。最終的に話し合った結論は「心は脳にある」となりました。話し合ってから決めた結論だったので満足感を持ってた時間でした。午後は情報大学の医療情報学科で、病気と健康の間の「未病」というものを教えてもらったり、ITとヘルスケア(予防医学)を組み合わせたバイタルデータを応用して治療に役立てたりする技術について知りました。



△心理学の話合いの様子です



△学生食堂も体験しました



△最新のIT技術に興味津々です